

田村市指定有形文化財

たけ の はな く よう とう
竹 ノ 花 供 養 塔



田村市船引町上移字竹ノ花地内に所在する竹ノ花供養塔は、興国元（1340）年8月の紀年名をもち、高さ116cm、幅57cmの大きさです。

上部に方形を印刻し、枠内の中央に阿弥陀の種子を刻み、それを構成するとされる種子を四方に配置しています。

「興国」は南北朝期の南朝方の年号で、そのあたりは南朝方の拠点であった霊山と宇津峰を結ぶルート上にありました。しかし、竹ノ花供養塔の北約700mに位置する長法寺には、北朝方の年号「暦応（1338～1342年）」が刻まれた石造物があり、南北朝という複雑な政治情勢が、当地にも影響していたことを物語っています。

